

薬物療法学

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

【概要】

様々な疾患の治療において中心となるのが治療薬を用いる薬物療法である。適正な薬物療法を行うためには、病態についての基礎的知識、用いる治療薬についての薬理学知識、そして治療薬の実際の使い方を統合した薬物療法学の知識が重要である。「薬物療法学」は病態と治療についての統合的な知識習得を目指す科目である。医療人として医療現場への関わりがますます多くなるこれからの薬剤師には、専門性の高い薬物療法的知識の習得が常に求められる。

「薬物療法学I」では、末梢神経系の自律神経系、体性神経系に作用する薬物と体性神経系・筋の疾患と治療について、薬理学を中心に、機能形態学的、病態生理学的知識も交えて体系的な理解を図る。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による